

ジョージア政治・経済 主な出来事

【2016年8月15日～2016年8月21日】

[当地報道をもとに作成]

平成28年8月26日

在ジョージア大使館

1. アブハジア・南オセチア

【アブハジア】

▼「副首相」の辞任(15日)

・アジンバ「アブハジア共和国副首相」が辞任。アジンバ「副首相」は、会見で、辞任は8月5日にバルツィツ新首相が任命されたことと無関係であると述べた。

2. 外 政

▼ボスニア・ヘルツェゴヴィナ外相のジョージア訪問(5日)

・ツルナダク・ボルニア・ヘルツェゴヴィナ外相がジョージアを訪問。マルグヴェラシヴィリ大統領、ジャンリゼ外相らと会談。

・「ジャ」外相との会談では、政治、経済、文化・人道分野などでの両国間の協力を検討。ジョージアおよびボスニア・ヘルツェゴビナのEU・NATO加盟プロセスについても議論した。「ツ」ボスニア・ヘルツェゴヴィナ外相はジョージアの主権・領土一体性に対する支持を改めて確認。

3. 内 政

▼中道主義者党の選挙登録の抹消(16日)

・前週に、国内におけるロシアの軍事基地の合法化を主張する選挙広告を放送し、議論を巻き起こした中道主義者党(Centrists)について、15日、法務省は、同党には公認された党首がいないと発表。

・同党は2002年に設立された後、2016年5月までほぼ活動を行っていなかった。法務省によれば、5月に開かれた同党の会合で党首が選ばれたが、6月2日に法務省は同党に対し、党首の選出方法が党の規則に則っていないことを文書で指摘した。その後、同党は規則違反がないことを主張したが、8月1日、法務省は同党の主張を認めない判断を下した。

・法務省の発表を受け、16日、中央選挙委員会は同党の選挙登録の抹消を発表。

▼連合「新しい選択」への「国民のための国家」党の合流(17日)

・「国民のための国家」党は、国会選挙に向け、8月5日に新政治センター「ギルチ」、新ジョージア党、新右派党が結成した連合「新しい選択」に加わると発表。18日午後、ブルチュラゼ「国民のための国家」党党首は、「親欧米路線、NATO加盟、急速な経済成長、公正性といった考えを共有する全ての人々に我々の扉は開かれている」と述べた。

・国会選挙に向けて連合の結成を中央選挙委員会に通知する期限は8月26日。

▼サーカシヴィリ前大統領夫人の国会選挙への立候補(19日)

・野党・統一国民運動(UNM)は、サーカシヴィリ前大統領夫人のサンドラ・ルロフス氏が西部サメグレロ地方ズグディディ地区の小選挙区で同党の候補者として立候補することを発表。

・8月19日、「ル」氏は、ズグディディ地区コルツヘリ村にてUNM支持者に対し、過去4年間ジョージアは休止状態であったとして、これ以上受動的な傍観者ではいられず、政治活動を行なうという「困難な決断」をしたと述べた。

・同じ小選挙区の与党ジョージアの夢・民主ジョージア党の候補者はトロライア・ズグディディ地区長。

▼一部の地区長・市長の選挙の実施(19日)

・マルグヴェラシヴィリ大統領は、前任者が与党ジョージアの夢・民主ジョージア党の国会選挙の候補者として発表されたため現在空席となっている一部の地区長・市長の選挙を、10月8日の国会選挙と同時に実施する大統領令に署名した。選挙が行なわれるのは、ボルニシ地区、ズグディディ地区、ツアレングハ地区、チラトゥラ地区、ハラガウリ地区、アハルツィヘ市。

4. 経 済

▼2015年の外国直接投資(15日)

・国家統計局が2015年の外国直接投資の確定値を発表。外国からジョージアへの直接投資額は3346百万ドル(前年比16.5%増)。ジョージアから外国への直接投資額は1781百万ドル(同59.7%増)。差し引き1564百万ドルの入超(同11%減)。

・主要なジョージアへの投資国は、アゼルバイジャン550百万ドル、英国386百万ドル、オランダ155百万ドル、ルクセンブルク106百万ドル、トルコ73百万ドル、中国67百万ドル、ロシア46百万ドル。

・外国直接投資の分野別の内訳は、輸送・通信585百万ドル、金融179百万ドル、医療・社会事業140百万ドル、ホテル・レストラン139百万ドル、エネルギー124百万ドル、建設111百万ドル、不動産90百万ドル、鉱業88百万ドル、製造67百万ドル。

▼2016年7月の工業製品生産者物価指数(15日)

・国家統計局が発表。前月比1.5%上昇、前年同月比2.3%減少。

▼2016年7月の国際送金(15日)

・国立銀行の資料によれば、2016年7月の外国からジョージアへの送金額は100.7百万ドル。前年同月比10.4%増。送金元の国別では、金額の大きい順に、ロシア37.4%、ギリシャ10.9%、米国10.9%、イタリア9.9%、トルコ7.2%、イスラエル4.9%、スペイン2.7%、ドイツ2.7%。EU諸国からの送金が30.8%を占める。

・2016年5月のジョージアから外国への送金額は15.7百万ドル。前年同月比24.6%増。

▼グローバル・イノベーション・インデックス2016(15日)

・世界知的所有権機関などが発表したグローバル・イノベーション・インデックスで、ジョージアは128か国中64位。昨年より9位上昇。

▼トルコ農業・畜産相のジョージア訪問(18日)

・チェリク・トルコ農業・畜産相がジョージアを訪問。クヴィリカシヴィリ首相、クムシシヴィリ経済・持続的発展相、ダネリア農業相と会談。貿易・経済および農業

分野における二国間協力について議論。トルコへのジョージアからの輸出の拡大に焦点が置かれた。

▼2016年1月～7月の貿易統計(19日)

・国家統計局が2016年1月～7月の貿易統計を発表。貿易額6,548百万ドル(前年同期比17%増)、輸出額1,122百万ドル(同12%減)、輸入額5,426百万ドル(同25%増)。

・貿易相手国の内訳はEU諸国26%、CIS諸国21%。国別では貿易額の多い順にカナダ、トルコ、ロシア、中国、アゼルバイジャン、アイルランド、ドイツ、ウクライナ、アルメニア、イタリア。

・日本との貿易高は輸出額667.2千ドル、輸入額94,448.2千ドル。